

『放課後等デイサービス自己点検及び評価シート』

作成日：令和5年5月20日

事業所名：放課後等デイサービス フローレットキッズ

現在の取組内容・今後の改善目標（内容）	
	<p>【昨年度の課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 第2訓練室においては、不要な道具や玩具の整理を引き続き行い、部屋の死角が出来ないように、更に工夫を重ねる必要がある。 事業所内の荷物が増えすぎており、不要な物の処分を実施しながら、常に活動スペースを広く確保していきたい。 <p>【昨年度の結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 第2訓練室については、不要な道具などがある程度処分や整理した事で、狭いながらも活動スペースは確保されつつある。 事業所内の荷物についてもある程度処分するが、新たな活動用具などをスタッフが製作するので、あまり荷物自体の量は変化がない。 6席の学習机が、再度物置状態になりつつあり（創作活動や課題に使う道具が散乱している）担当者が責任をもって片付けて欲しいところである。 <p>【今年度の課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 各訓練室のスペース確保のため、整理整頓の徹底と、不要になった用具や道具は直ぐに処分することで、常に各活動のスペースを広い状態で使えるように、指導員へ徹底していきたい。
<p>1 環境・ 体制 整備</p>	<p>令和5年4月1日現在の配置状況</p> <p>★管理者／児童発達支援管理責任者兼務（常勤1名男性） ・社会福祉主事任用／児発管／あい・さかいサポートリーダー</p> <p>★児童指導員（常勤2名） ・女性 社会福祉主事任用／児発管／小学校・幼稚園教諭1種 ・男性 強度行動障がい実践/初任者研修</p> <p>★その他の従業者（常勤1名） 女性 初任者研修/強度行動障がい基礎</p> <p>★その他の従業者（非常勤6名） ・女性 資格なし ・女性 資格なし ・男性 初任者研修 ・女性 資格なし ・女性 初任者研修/同行援護一般 ・女性 介護福祉士/喀痰吸引1号/サビ管 ※指導員は常時4名～6名を配置（児童の利用人数により配置）</p> <p>★事務員（非常勤1名） ・女性 その他従業者兼務</p> <p>★運転手専従（非常勤1名） ・男性 本業の関係上、出勤は不定期</p> <p>【昨年度の職員の退職者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 男性 常勤児童指導員 女性 常勤その他従業者 女性 非常勤その他従業者 女性 非常勤事務員 <p>【昨年度の課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 引き続き外部研修への参加、及び内部での研修会の実施 常勤職員（女性）がサビ管の更新時期であり、更新研修に参加させる予定。 新人職員については、「強度行動障がい（基礎）」の研修に参加させる予定 <p>【昨年度の結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ZOOMでの外部研修は、希望者の参加を呼びかけ、数名が受けている。内部研修については、おおむね2カ月
	<p>①支援内容にあった指導訓練室・相談スペース等の確保</p>
	<p>②職員の専門性・配置数 あい・さかいサポートリーダー 一の配置の有無</p>

		<p>／1回のペースで実施している。</p> <p>2、常勤職員（女性）の「サビ管更新研修」は終了した。</p> <p>3、常勤その他従業者（女性）の「強度行動障がい基礎研修」は受講し終了した。</p> <p>【今年度の課題】</p> <p>1、外部研修については案内があれば指導員に周知し、参加の促しを継続する。内部研修については、各指導員がテーマごとに持ち回りで講師を行う形で継続実施する。また、年度内に何かテーマを決めて、外部講師を依頼することも検討実施したい。</p> <p>2、無資格者については、「強度行動障がい基礎研修」の受講をおこなう方向で検討している（希望者複数名）</p>
	<p>③送迎体制・添乗員の確保</p>	<p>【昨年度の課題】</p> <p>1、全送迎に対しての添乗員の配置は難しい状態であり、児童の乗車人数や状態によって、可能な範囲で配置を行っていく予定である。</p> <p>【昨年度の結果】</p> <p>1、必要に応じてのみの添乗員配置を予定してはいたが、送迎時間帯が重なり、指導員（非常勤）の出勤数や時間帯により訓練室内の指導員の配置数も検討すると、添乗員の配置は難しい状況が多かった。</p> <p>2、アンケートにおいても、状況に応じた添乗員の必要性の声もあった。</p> <p>【今年度の課題】</p> <p>1、今年度新たに利用を開始する複数名の低学年児童が居ることで、添乗員の必要性の声もあったことを踏まえ、1台に乗車する児童数や学校での引継ぎの方法および天候などに応じて、可能な範囲で添乗員の配置を検討実施する。</p>
	<p>④合理的配慮の視点に基づく環境整備</p>	<p>【昨年度の課題】</p> <p>1、歩行用スロープについては、階段や手摺を設置した方が良いと、指導員からの意見があり、再度改造を行って貰っている（業者依頼中）</p> <p>2、その他は児童の様子を見ながら、必要に応じて作成する。</p> <p>【昨年度の結果】</p> <p>1、歩行用のスロープについては業者に依頼を掛けたが、本業が忙しく手付かずのままとなっている。</p> <p>2、新たな環境整備は行っていない。</p> <p>【今年度の目標】</p> <p>1、児童向けのスケジュールボードを活用しているが、定着しておらず、新たな工夫が必要。</p> <p>2、第2訓練室の一部やトイレ・手洗い場に行く通路が死角になりやすく目が届かないとの意見があり、定期巡回や声掛けの方法など工夫が求められた事で、検討をしている。</p>
	<p>⑤職員の健康診断の実施</p>	<p>【現状】</p> <p>1、毎年10月に年齢に応じた全職員の健康診断を実施。（指定病院または自宅近隣の病院にて）</p> <p>2、副業的な勤務をしている職員については、本業の健康診断結果を提出して貰い保管している。</p> <p>【昨年度の変更点】</p> <p>1、今まで依頼していた病院の健康診断の受付時間が午後からとなった事で、午前を実施して貰える病院に変更した。</p>

<p>2 業務改善</p>	<p>①アンケート等による利用 児・保護者のニーズの把握と フィードバック</p>	<p>★今回のアンケートにおいて、以下のようなご指摘を頂いた。 ●赤字：ご指摘内容 ●青字：回答内容</p> <p>①府内の事業所で送迎時の不備でお子さんが走り出し残念な事故にあったと昨年末に聞き、とても悲しい思いをしました。今後全事業所でそのような事故が起こらないように徹底して頂きたいです。(送迎)</p> <p>⇒とのご指摘に関して、この事故は私も聞いており事業所としてあってはならない事だと痛感しています。お子様を預かる事業所としての責任を今一度認識し直し取り組んでまいります。</p> <p>②乗車人数が多い時は運転手のみでは声掛けや制御が不十分になってしまいます事があるのでは？(送迎)</p> <p>⇒とのご指摘に関して、ご指摘に関しては間違いありませんね。事業所として努力が足りない事も認識していますが、訓練室で支援する指導員と送迎を行う指導員のバランスも検討して、可能な範囲で添乗員を付けることができるよう努力します。(この件に関しては、内部からも意見が上がっているので、早急に検討します。)</p> <p>③不十分ではないが、児童が使いやすいかどうかの点に於いては疑問がある。(合理的配慮)</p> <p>⇒とのご指摘に関して、合理的配慮については、子供達の状況を見ながら必要最低限の対応はしているつもりですが、見る人から見れば不十分なところも多々あると思います。間違った考え方かもしれませんが、手を加えすぎることともどうかと言う考えの下、出来るだけ自然の状態、必要最低限で今後も継続したいと考えています。</p> <p>④事案があるかも分からないので、再発防止に努めているのかも分からない。(ヒヤリハット)</p> <p>⇒とのご指摘に関して、ご指摘の通りです、ヒヤリハット報告や対応内容は保護者の方からすれば、分かりにくい部分ですね。今後は情報開示できるよう検討実施していきます。</p> <p>～事業所から保護者様への一言～</p> <p>・貴重なご意見有難うございます。保護者様からのご意見は今後の運営に役立てていきたいと思っております、また高評価頂いている回答にも奢ることなく、真摯に対応していきますので今後ともよろしくお願い致します。また、今回のアンケート以外でも、お気づきの点がありましたら、ご遠慮なく申し付けてください。</p> <p>★以上については、アンケート集計結果、保護者様へ配布。</p>
-------------------	---	---

	<p>②職員の支援技術の向上・虐待防止等の研修 (障害児通所支援事業者育成事業利用の有無)</p>	<p>【昨年度の課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 各マニュアルについては、常勤職員がそれぞれを担当・作成し、完成後は全員でマニュアルの中身を検証し、全職員が理解し支援にあたる事が出来るようにしていく事を目的に年度半ばまでに整える。 育成事業については、テーマを「支援計画に向けた、保護者や利用児童のニーズの掘り起こしの手法・アセスメントにおける内容の精査・支援日報の記載の注意点(支援計画からどのように反映させるか)」とし、5期目の参加申請を行った。 未経験・無資格の職員が増えた事もあり、スキルアップの為に今年度は事業所内の内部研修の中身を吟味しながら、現場で即役立つ内容のものにしていきたい。(特性・身体拘束/虐待防止・事故・災害等) <p>【昨年度の結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 各マニュアルの見直しに掛かり始めたが、指導員の退職やその他の事情で担当の割り振りの見直しが出来ずに頓挫している状況である。 育成事業については結論には至らずであったが、これからのヒントは得られたと思われる。 内部研修は定期的を実施し、昨年度後半では「特性を知ろう」と言うテーマの下、①行動観察(11月)②問題行動やしんどいところを見つけよう(1月)③適切な支援方法を見つけよう(3月)の3回に分けそれぞれ「観る、感じる、考える、実践する」ことで今後の支援に活かしてもらえよう初の試みを行った。 <p>【今年度の課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> マニュアルに関しては、今年度秋までに全て見直し、1冊のファイルにし、全指導員へ配布する。また内容も一部抜粋して保護者への配布も行う予定である。 育成事業については、 <ol style="list-style-type: none"> コロナが5類となりこれから子供達とどのように向き合うか。(3年間での子供達の考え方の変化に対する係わり方) 次年度の法改正の概要とそれに向けた取り組みについて。 <p>★以上のテーマで第6期目の申込申請を行った。</p>
	<p>③虐待防止等のための責任者を設置</p>	<p>【現状】</p> <p>★管理者兼児童発達支援管理責任者を責任者としている</p>
	<p>④利用児、保護者からの苦情や意見への対応及び事業運営への反映</p>	<p>【現状】</p> <p>★苦情やご意見があった場合は、速やかに全職員に周知を行い可能な範囲で改善を図り、ご理解を得られるよう努めている。</p> <p>★相談に関しては、その場で回答できる場合と一旦預かる場合があるが、出来る限り早急に回答することを心掛け、内容の必要性に応じて全職員に周知を行う。</p> <p>★連絡帳に記載されている内容についても、必要に応じて保護者へ確認する、または回答するなどの対応を心掛けている。</p> <p>★いずれも内容に応じて記録に残している。</p>
<p>3 適切な支援の提供</p>	<p>①児童発達支援管理責任者による放課後等デイサービス計画の作成(アセスメント・利用児及び保護者の意向確認・計画案の作成・会議開催・計画の保護者への説明及び交付)</p>	<p>【現状】</p> <p>★①支援計画開始からおおむね4ヶ月後に各指導員による中間評価を実施し、児発管がまとめ次への方向性を検討。</p> <p>★②おおむね5ヶ月後に児発管と主任が保護者と対面でアセスメントを実施(家庭での様子と事業所での様子の情報交換及び次期支援計画に向けた方向性の説明。1~2時間程度実施)</p> <p>★③5ヶ月後の中旬に支援検討会議を開催し、中間評価とアセスメントから次期支援検討内容を話し合い決定し、下旬に次期支援計画を保護者へ提示し同意を得る。</p> <p>※なお、中間評価から支援検討会議までで大きな変化が生じない限りアセスメントで保護者に説明した内容がおおむね反映されるため、説明は省略しているが、不明点があれば質問頂くようにしている。</p>
	<p>②モニタリングの実施、計画の見直し</p>	<p>【昨年度の課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> モニタリングや中間評価について、指導員が偏った考え方や意見になりがちであり、様々な角度から見る事で色々な意見を出せるようになって欲しい。(一人の意見に流されがちな部分がある)

		<p>2、新人職員が増えた事もあり、改めて各書類の記載方法について研修会を行い、スムーズな記載が出来るよう職員の意識改革を行う。</p> <p>3、上記項目により、非常勤からの意見も取り入れやすく出来るよう図っていく。</p> <p>4、支援検討会議についても、時間短縮が図れるよう書式の見直しや、事前情報の配布等、工夫が必要である。(意見が出やすい内容を検討する)</p> <p>【昨年度の結果】</p> <p>1、未だ偏った意見になる所もあるが、少しずつ複数の意見が出るようになってきているところも見え始めた。</p> <p>2、各書類の記載方法については、全指導員が共通認識を図れるように短時間研修を複数回実施した。</p> <p>3、支援検討会議については、非常勤の参加が難しい状態が継続しているが、中間評価をパソコン入力にすることで、以前に比べ意見が出るようになってきた。</p> <p>4、会議中の意見はまだ出にくいところもあるが、出来るだけ時間短縮できるよう記録用紙内容の工夫を継続して行っている。</p> <p>【今年度の課題】</p> <p>1、令和5年度より、月1回土曜日を休所日とし職員会議及び研修会、支援検討会議の日と定め、日中に開催することで全職員が参加しやすい環境で行う事とした。(保護者への周知済み)</p> <p>2、会議時間において、全指導員から意見を述べやすくする方法を更に検討していく。(目標や目的を統一認識できるように研修会も実施する必要がある)</p>
③個別の課題に対応した活動内容・プログラム		<p>【昨年度の課題】</p> <p>1、メリハリをつける事に関しては、現状の取り組み方で様子を見ながら、修正すべき点は修正をしながら継続する。</p> <p>2、家事についても向上が見られている事から、継続して実施する。</p> <p>3、宿題への取り組みについては、児童の気持ちもくみ取りながらも、最後まで終わらせようという気持ちを持って貰えるように、支援を継続する。</p> <p>4、卒業を迎える児童については、就労に役立つような課題を作り、取り組みを行って貰う(以前から実施はしている)</p> <p>【昨年度の結果】</p> <p>1、メリハリをつけることに関しては、少しずつ定着しつつある。</p> <p>2、洗濯物を畳む、食器を洗う、お菓子を配るなどを日々行うことで少しずつ向上が見られる児童も増えている。</p> <p>3、宿題を学校へ忘れてくる児童も時折見られるが、事業所でプリントなど別課題を提供し、最後まで取り組めるように継続している。</p> <p>4、卒業を迎える児童への作業課題の提供を通じ、就労に対する意識が芽生えた児童も見られた。</p> <p>【今年度の課題】</p> <p>1、新たな取り組みは、その都度検討することとし、現状の取り組みを継続し、スモールステップを図っていく。</p>
④ミーティング等の実施		<p>【現状】ミーティングや会議の実施状況</p> <p>1、始業前のミーティング(利用児童の確認、1日の流れ)</p> <p>2、終業時の情報共有(支援日報を記載しながら、情報の共有)</p> <p>3、週末のミーティング(次週の予定、申し送り等)</p> <p>4、月1回の職員会議・支援計画検討会議</p> <p>5、2ヶ月/1回の内部研修(指導員持ち回りで講師をずる)</p> <p>【昨年度の課題】</p> <p>1、支援検討会議のロスをなくす取組の継続(書類の書式や会議の進行方法の再検討)</p> <p>2、ミーティングにおいて、非常勤指導員が参加しにくい状況であり、伝達を確実に出来るように検討が必要。</p> <p>【昨年度の結果】</p> <p>1、年度途中から始業前ミーティングは、非常勤の出勤時間の問題から、申し送りボードへの記載に変更し、各自が確認するように変更した。</p>

		<p>2、週末のミーティングについても週末に週間予定表を配布し、情報共有を図れるように変更した</p> <p>3、支援検討鍵のロスをなくすため、軽微な書式変更を繰り返し、中間評価は可能な限り全指導員が記載するように指示を出し、少しずつ定着しつつある。</p> <p>【今年度の課題】</p> <p>1、会議日とするために毎月1回土曜日を休所日にし、今までよりも参加率を上げることを目的に、日中の時間で実施することとし、支援に対する意識を高めてもらう。</p>
	⑤支援内容の記録	<p>【昨年度の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導員の入れ替わりにより、改めて各書類の記載方法や注意点の指導を実施し、テーマも統一した記載がなされるようにしていきたい。 <p>【昨年度の結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ある程度記載方法のポイントなどの説明会を空き時間で開催し、各指導員には理解して貰えている。 ・送迎の都合などで、記載者が偏りがちになるので、満遍なく皆が記載できるように工夫が必要。 <p>【今年度の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援の見るポイントや継続した記載方法など、説明会を通じ中間評価がしやすい記載方法を学んで貰いたい。 ・降所時の送迎担当なども考慮しながら、皆が記載できるように心掛ける。
4 関係機関との連携	①サービス担当者会議への参加（障害児相談支援事業所との連携）	<p>【現状】</p> <p>1、計画相談事業所の呼びかけによる定期開催の担当者会議への参加。</p> <p>2、特に密な連携が必要なケースは、その都度サービス担当者会議開催時に参加。（計画相談・基幹相談・行政・学校・他事業所等）</p> <p>【課題】（昨年度と変化なし）</p> <p>1、昨年に引き続きモニタリング実施やサービス計画書の提示もない計画相談事業所が多い。担当者も不明な所もあり連携が図りにくい状況は続いている。（計画相談がついているケースの6割）</p> <p>2、コロナ禍の影響で、モニタリング訪問する件数が減り、電話での問い合わせが増えているが、最近は問い合わせも減っているように感じる。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記以外にも、問い合わせをしても、折り返しがない計画相談や、情報提供を拒む計画相談もあり困ることがある。
	②学校との連携	<p>【現状】</p> <p>1、放課後等デイサービスの認識が浸透して来た事もあり、比較的情報交換が出来やすい状況となってきた。</p> <p>2、必要に応じ担当者会議に教諭が参加されることもあり、密な連携を取れているケースもある。</p> <p>【課題】（昨年度と変化なし）</p> <p>1、児童の対応、情報共有が難しい学校があり、未だに放デイの事業に理解頂けていないと感じる学校もあり残念に思うが、時間を掛けて理解して頂こうと思う。</p> <p>【問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校迎えの際、先生の付き添いなどがなく、連れて行って良いのかどうか迷う時がある。 ・個人情報とのことで、下校時間を教えて頂けない学校があり、時間が変更になっても教えて貰えず、遅れていくとお叱りを受けることがある。（基本保護者の責任でと伝えてはいるが、保護者も理解していない時がある）

	<p>③他の放課後等デイサービス事業所、障害福祉サービス事業所等との連携</p>	<p>【現状】</p> <p>1、他の放課後等デイサービス事業所や障害福祉サービス事業所との連携は必要に応じ行う程度。(ケースの必要性に応じて)</p> <p>2、他事業所との連携に関しては、計画相談が介して情報交換や共有を行っている(一部の児童)</p> <p>【課題】(昨年度と変化なし)</p> <p>1、コロナ禍の影響で、複数の事業所を利用する児童の様子を見に行きたいと考えていたが、実現できなかった。</p> <p>2、特に難ケースや家庭内支援が必要な場合以外は、共有する事がほとんどない。</p> <p>【目標】</p> <p>・時間や指導員の配置状況を考慮しながら、他事業所(放デイ)への見学を実現したい。</p>
	<p>④(特に医療的ケアを必要とする利用児について)主治医や協力医療機関等との連携・連絡体制</p>	<p>【現状】(昨年度と変化なし)</p> <p>1、医師の指示書に基づいたケアを実施、利用月のケア報告書を郵送。</p> <p>2、半年に一回若しくはケアの方法に変更が生じたときは、その都度保護者を經由して指示書を貰っている。 ※普段は保護者から主治医の意向確認をする事が多い。 ※看護職員の配置はしていないため、ケアの内容は限られている。</p> <p>【今年度の課題】</p> <p>1、現状維持。喀痰吸引3号の資格取得者のみでの対応。</p> <p>2、可能であれば通院同行をしたい(指導員からの意見)</p> <p>【昨年度の結果】</p> <p>1、喀痰吸引3号資格取得者が退職した事で、対象児童の受入が不可となり、ご迷惑をおかけした。</p> <p>【今年度の改善】</p> <p>1、以前勤めていた喀痰吸引1号取得者が、月1~2回の出勤が可能であることが分かり、入職して貰えたことで、待機して貰っていた対象児童の受入が可能になったが。</p>
	<p>⑤学校を卒業する際の就労移行支援(引継ぎ等)、就学前施設との連携(情報共有・引継ぎ等)</p>	<p>【現状】(昨年度と変化なし)</p> <p>・特に必要な児童に関しては、移行前・移行後と定期的な情報交換や共有を行っている。</p> <p>・学校卒業後の進路に関する事も、数件の障害福祉サービス事業所との連携体制があり、保護者から見学先の要望があれば紹介を行っている。</p> <p>【昨年度の結果】</p> <p>・2名の卒業生が居たが、引継ぎの会議が行われてたのは1名のみであった。</p>
	<p>⑥「あい・ふあいる」の活用</p>	<p>【今年度の課題】</p> <p>・事業所で「あい・ふあいる」についての紹介する配布物を作成し、広められるように取り組んでいきたい。</p> <p>【昨年度の結果】</p> <p>・昨年度も紹介する機会がなく、取り組めずであった。</p> <p>【今年度の目標】</p> <p>・まずは、当事業所で冊子を作り、保護者向けの配布を行う予定である。</p>
<p>5 保護者への説明責任</p>	<p>①事業所で実施している支援(支援内容、プログラムなどを記載してください。)</p>	<p>★ゲームやタブレットは使用できないルールとし、子供同士の係わりをメインに以下の支援を実施している。</p> <p>●学習課題：宿題に取り組む事がベースであるが、宿題のない児童にはレベルにあった国語や算数のプリント、点つなぎや迷路等様々なプリントを提供し取り組んで貰う。</p> <p>●作業課題：主に組み立てや仕分け作業を、個別または数名での流れ作業等をベースに取り組んで貰う。</p> <p>●生活訓練：日常生活に必要な家事等をベースに取り組んで貰う。(洗う物、洗濯干し・畳み、その他必要と思われる事)</p> <p>●その他：個別活動(自分がしたい事)、集団活動(日々15分程度ゲーム等行う、創作活動、調理実習、外出行事、外食行事、季節行事等)を取り入れている。</p>

②運営規程、支援内容、利用者負担の説明	<p>【現状】（昨年度と変化なし）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、運営規程及び利用者負担に関する説明は、重要事項説明書に基づき、利用契約前に説明を行っている。また必要に応じ（外出や外食等）利用者負担が生じる場合は、その都度書面にて説明を行い、了承をいただいた上での徴収としている。また金額面に関しても極力負担が大きくなるように検討したうえで行う事を心がけている。また事前徴収の場合は、その都度預かり証の発行も行っている。 2、支援内容に関しては、アセスメントごとに方向性の説明を行い、支援計画に記載するようにしている。（保護者や本人からのニーズがあれば、ニーズに沿った検討も行い支援計画に記載する）
③保護者からの相談への適切な対応、必要な助言	<p>【現状】（昨年度と変化なし）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、保護者からの相談は真摯に対応する事を心掛け、可能な範囲での提案や助言を行っている。また対応しきれない案件に関しては、関係機関や連携施設などの協力を得ながら解決できるように努力している。
④会報の発行等による活動内容や行事予定等の定期的な発信	<p>【今年度の課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、機関紙は新たなテーマを作り、発刊する方向で発刊を行う。 2、ブログ発信については、今年度から再開する方向で取り組みたい。（なお更新は月1～2回程度）またブログ再開前に個人情報の観点での保護者への同意を求める方向で検討中。 <p>【昨年度の結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、機関紙の紙面を変え、行事ごとに沢山の写真を掲載するようになった。 2、ブログに関しては更新が行えずであった。 <p>【今年度の課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、機関紙については、マンネリ化しないように新たな内容も取り入れていきたい。 2、ブログに関しては、定期更新を目標に継続する。（週1回程度を目標）
⑤日々の支援内容、利用児の様子、おやつ等の保護者への報告	<p>【現状】（昨年度と変化なし）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、連絡帳を通じ情報共有を行っている。また記載漏れや補正事項があった場合は、送迎時の口頭または電話報告を行う。 2、連絡帳の記載内容は、利用時間中の様子や取り組み内容・おやつや昼食の摂取量・バイタルや排泄面の記載をメインとしている。
⑥おやつ代等実費徴収している費用に係る領収書の発行、精算報告	<p>現状】（昨年度と変化なし）</p> <p>★おやつ代の負担は徴収していない。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、調理実習の材料費（上限200円）⇒精算報書の発行 2、外出の際、必要となる費用（一部または全部） 3、外食の際、必要となる食事代（一部または全部） 4、施設内行事での昼食代（一部または全部） 5、外食に関しては選択肢を設け実費負担 <p>⇒徴収金額に対する報告</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、精算報書の発行（毎月の請求書に添付） 2～5、預かり証、店舗領収証をその都度保護者へ渡している。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇期間等において、比較的購入弁当が多い家庭への金銭負担が大きくなる事が気がかりである。（弁当の値段が上がっている事から） <p>【昨年度の結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何ら手立てがないまま過ぎてしまったことが反省点である。 <p>【今年度の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能であれば宅配食材などを利用し、家庭の負担を抑えることができると検討している。

	<p>⑦身体拘束を行う場合の決定手順、利用児・保護者への説明、計画への記載</p>	<p>【現状】（昨年度と変化なし）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、必要性のある場合については、手順を会議で話し合う。 2、アセスメント時に、保護者への説明を行い、了承を得る。 3、固定ベルト以外については、特に必要となるケースは殆どなく、飛び出し等の突発性があるケースについては、特記事項として注意喚起又は手を繋ぐ等、一時的な対応をする事を前提に、支援計画に盛り込んでいる。また固定ベルトを実施した場合は、記録を支援日報に記載するようにした。（一時的に手を繋ぐ等の対応は除く） 4、消失またはほぼ消失と判断されるケースについては、一旦支援計画から除外し様子を見る事と記載するようにしている。
	<p>⑧個人情報の適切な取扱い</p>	<p>【現状】（昨年度と変化なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約時に保護者より個人情報の同意を頂き、契約書関係及び日報関係の書類については、鍵付きのロッカーで保管している。 ・従業員には個人情報の取り扱いについて、雇用契約の際説明し誓約書を貰っている。
<p>6 非常時の対応</p>	<p>①緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の整備と職員、保護者への周知</p>	<p>【昨年度の課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、虐待については、外部研修への参加及び内部研修を実施し引き続き取り組む。（更に権利擁護についても理解を深めていく事で、マニュアルに反映させていく） 2、マニュアルについては、行政から指示のあったものは、ほぼ完成に近づけてはいるが、事業所独自のマニュアルは、各担当を決め着手し始めた段階であり、今年度半ばまでに完成させる。 <p>【昨年度の結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政から指示のあったマニュアルは完成に近い状況であるが、細かな部分が未完成である。 ・事業所独自のマニュアルについては諸事情で中断している。 <p>【今年度の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政から指示のあったマニュアルについては、前期で完成させる。 ・事業所独自のマニュアルについては、1冊の冊子として整備し、各指導員へ配布、内容の一部は保護者へ配布することを目標にできるだけ早い段階で整備する。
<p>6 非常時の対応</p>	<p>②非常災害の計画策定、避難・救出・その他必要な訓練の実施</p>	<p>【現状】（昨年度と変化なし）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、新たな非常災害対策計画は現在作成中 2、避難訓練は様々な想定で毎月実施しており、消防署員立会の訓練も定めた4月または10月に実施している（水消火器の使用訓練も実施） <p>【各想定での避難訓練実施状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、室内出火に伴う、第1避難場所への避難（駐車場） 2、地震・豪雨・高潮等に伴う広域避難場所への避難（浜寺石津小学校） 3、津波・豪雨等に伴うマンション高層階への避難（6階まで） 4、Jアラート発令時の対応訓練 5、大津波警報発令時の移動訓練（大仙公園） <p>【昨年度の課題】（変更点なし）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、現状の避難訓練の継続実施。（月1回の実施） 2、訓練の方法についても、緊張感を持った訓練方法を充実させる。（指導員からの指摘あり） 3、災害に関するマニュアルが増えず、まとめたもの出来ないか？ <p>【昨年度の結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は月1回の実施を行えたが、消防署の立会は出来ていない（消防署の都合） ・その他、消火器訓練や防災ビデオ、大仙公園への移動訓練、防災センターでの体験などは実施した。 <p>【今年度の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の継続した定期避難訓練の実施（火災・地震・大雨・津波・Jアラート・不審者など） ・消火器訓練、防災ビデオ鑑賞、移動訓練 ・指導員が緊張感をもって訓練に臨めるように指導の徹底

	<p>③ヒヤリハット、事故の事案を収集し再発防止等について事業所内において共有</p>	<p>【現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、発生後の書面報告を徹底し、原因や反省、再発防止に向けたミーティングを必要に応じて実施している。 2、事故やヒヤリハットを未然に防ぐために、職員が互いに声を掛け合うように心掛けている。(注意喚起) <p>【昨年度の課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、未経験の指導員が増えた事で、事故防止やヒヤリハットの重要性をしっかりと伝え、大事故につながらないように注意喚起の徹底を行う。(もちろん経験年数のある指導員も含め) <p>【昨年度の結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、反省点として、ヒヤリハットが事故に繋がる警鐘はしているが、ヒヤリハットの認識が甘い部分が見られた。 <p>【今年度の目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ヒヤリハットを内部研修に取り入れ、重大事故に繋がることの警鐘を改めて行っていきたい。
	<p>④サービス提供中の事故を防ぐための取組等</p>	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓練室内では6名程度の指導員を配置し、常に子供達の動向の見守り。(事務所内で各室のモニター監視) ・各室の扉は内外から施錠開錠できるものになっている。 ・玄関については、飛び出し防止のため2重ロックにしている。 ・ケガをする可能性のある道具は、その都度指定された場所へ片付ける。 ・各室の始業前・始業後の点検 ・送迎については、安全運転を心掛けるよう指導し、各車両にドライブレコーダーを設置している。
	<p>⑤感染症対策の実施</p>	<p>【現状】 昨年度と変化なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お迎え乗車前とおやつ前の検温実施、アルコール及び次亜塩素酸水の設置(入室時やおやつ、食事の手洗いアルコール消毒) ・可能な児童に関してはマスクの着用。 ・学習時やおやつ、食事の際は一定の距離を保ち、同じ方向を向き、取り組むようにしている。 ・事業所として、職員の出勤時の検温、消毒、マスク着用の徹底。 <p>★5類に移行したが、当面は若干緩めながら上記の対応を継続する。</p>
<p>7 その他</p>	<p>① 地域との交流</p>	<p>【現状】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、地域行事は基本的に機会が少なく、開催も事業所の休日が多い為参加できないが、成人事業所の主催する行事やバザーへの参加を行う事で、交流を図っている。 <p>【昨年度の課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、販売体験は事業所内で活動の一環として実施を検討中。(販売物品の入手や事業所内通貨をどのように行うかなど検討中) 2、畑に関しては、成人事業所から誘いを受けてはいるが、やはり活動の一環として実施する事は、移動距離の問題から、定期的に行う事は難しいと判断している。(収穫体験や種蒔き体験等、一時的な実施なら可能かと思われる) 3、マンションの住民と一緒にいる避難訓練については、コロナが治まりしだい管理会社と交渉を行う予定であるが、高齢者や外国の方が居住している事で、交渉は困難と思われる。(管理会社が主催で実施してくれれば良いのだが) <p>【昨年度の結果】</p> <p>※成人事業所の催しへの参加のみであった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、フリーマーケットの名称で、事業所内通貨、指導員や児童が作った品物や景品の余りを商品として行事の一環として行った。 2、畑活動は参加せず(移動距離と時間的な問題) 3、マンション全体の避難訓練はできずであった。(事業所のみ呼びかけでは難しいのではないかと考える) <p>【今年度の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな地域行事へ目を向け、受入時間内で出来る催しなどの参加を検討する。 ・社会見学など見学を受け入れる会社へ見学できる機会を取り入れる(長期休暇期間)

